

山門から境内までは未知数(4月19日38日目)

午前は今治市街地の平坦な道を歩き、四つの札所を巡拝します。五つ目の札所は標高 255m にある 58 番札所仙遊寺で、一般的には、遍路転がしとはなっていないのですが、歩きお遍路のなかでは遍路転がし扱いになっている場所です。今日は、その宿坊に泊まります。54 番札所延命寺、55 番札所南光坊、56 番札所泰山寺、57 番札所栄福寺及び 58 番札所仙遊寺の5霊場を巡拝します。

今治市街地周辺にある 4 つの札所を巡拝します。54 番札所近見山宝鐘院延命寺(えんめいじ)は、今治市の郊外にあり、土産物屋が屋台のようにならぶ庶民的な感じのする札所です。ここから、55 番札所別宮山金剛院南光坊(なんこうぼう)は、約 1 時間の距離で JR 伊予線今治駅に近い街中にあります。境内を一般道が通っており、お寺の範囲がよく分からないほど広い境内です。更に 1 時間ほど住宅街を抜けるように歩き進むと、金輪山を背負った山裾にあるこぢんまりした境内の 56 番札所金輪山勅王院泰山寺(たいさんじ)に着きます。ここからは、二級河川蒼社川(そうじやがわ)を越えた遠くに 58 番札所仙遊寺の建つ作礼山(標高 290m)を望めます。57 番札所府頭山無量寿院栄福寺(えいふくじ)は、蒼社川を渡って少しずつ山手に入っていき感じになります。

ここまでは、札所が近く街中だったこともあってか、次からつぎと札所を巡拝する感じで、札所と札所の間には様々なことを思い浮かべながら歩くことは少なく、遍路道を探しながら歩き進めるだけでした。札所と札所の間が修行、と教えてもらったことを思い出し、もったいなかったと感じています。

57 番札所栄福寺は、お昼を過ぎての巡拝だったので、境内で少しゆっくりしました。札所で休んでいたら、「大変そうですね、これ使って下さい」と、頂いたのが湿布です。また、昼時だったからかおはぎも頂きました。更に「こんなに大きな花は初めてみた!」と、金剛杖を繁々と見ていました。長い時間札所の休憩所に座ってお遍路さんを眺めている方でした。何をされている方なのか分かりませんが、私が足を痛めているのに気づき、そして昼時なのに何も食べようとしていない私に、おせったいをして下さいました。有り難いです。

今日 5 つ目の札所は、標高 290m 作礼山にある 58 番札所作礼山千光院仙遊寺(ゆうせんじ)です。一般的には遍路転がしにはなっていないのですが、歩きお遍路の中では遍路転がしになっている場所です。舗装された急勾配の道から山門をくぐり参道に入ると、周りの様子は一変し、険しい山道と急勾配の石段が長く続きます。この辺が遍路転がしと同等と言われるゆえんのです。



山門から入って直ぐの参道

これまでの札所でも、山門をくぐってから、長いながい参道があったり、長い石段があったりしましたが、ここ 58 番札所仙遊寺は、山門から険しい山道と急勾配の石段があり、息せき切ってようやく境内に辿り着きます。この様な札所は、古くから修行の寺として栄えてきた歴史を持つようです。山門からの「長い参道」「長い石段」そして「長く険しい山道」は、私の山門「あるある」です。山門を見て札所に着いたと思うなかれ、これ鉄則です。今日は、58 番札所仙遊寺の宿坊に泊まります。

special notes: 山門

・神社仏閣の入口は、俗世の世界と神仏の世界の「境界」です。そこに位置する「鳥居」や「山門」は、共通の意味合いを持ちます。神社の入り口は鳥居で、それより先は神様が降臨する神聖なる場所です。一方のお寺の入口は「山門」(さんもん)で、そこから先は仏の国です。

・お寺の正門である山門は「空・無相・無願」の悟りの境地「三解脱門(さんげだつもん)」に到るための門として「三門」とも称されます。

・昔、お寺は、静かな山の中で、修行に専念しようと人里離れた山奥に建てられました。こうした由来から、お寺には山号をつけるようになって、平地に建てられたお寺の門も「山門」と言われるようになっていきます。例えば、一番札所は、「竺和山一乗院靈山寺」というように、「竺和山」という山号がついています。ちなみに、お寺の名称は、山号、院号、寺号で基本構成されています。山号は総括した姓、院号は地名、寺号は名にあたります。普段は、寺号(例えば靈山寺)だけでよんでいます。

・山門の両脇には、筋骨隆々とした像が立っています。仁王像、または金剛力士像とも呼ばれるお寺の守護神で、お寺に修行の邪魔となるものや、悪いものが入ってくるのを防ぐ役割を担っています。目をカッと見開き、大きく口を開いた「阿形像(あぎょうぞう)」と、口を結んだ「吽形像(うんぎょうぞう)」の 2 体で一対が基本とされています。「阿(あ)」は口を開いて一番初めに出す音、「吽(うん)」は口を閉じて出す最後の音です。これは、宇宙の始まりから終わりまでを表していると言われています。

・境内に入るだいぶ前に山門があるのは、境内だけではなく、例えば山一帯を仏の国と考えているからなのかも知れません。

行程等基本データ(4月19日38日目)

- ・巡拝寺院: 5 寺巡拝(54 番札所から 58 番札所)
- ・天気: 午前 曇り / 午後 曇り
- ・歩いた時間: 7 時間 38 分 / 日(6 時 50 分宿発 ~ 14 時 28 分着)
- ・歩いた距離: 19.2 km(平均速度: 2.5 km/h)
- ・通過市町村: 1 市(今治市)
- ・高低差: 253m(2m⇄255m)
- ・消費カロリー: 2,114 kcal